

間伐モニタリング現場説明資料

1 目的

- 下層植生、立木成長が間伐後に経時的にどのように変化するかデータは乏しく、経験的な推論の域を出ていないことから、「豊田市100年の森づくり構想」に沿って間伐モニタリングを実施する。

2 事業期間

2008(平成20)年～2020(平成31)年の12年間（以上）

3 調査の概要

- 植生調査：間伐実施地の平均的な林分において、30m四方の方形区の中央に10m×10mの方形区を設置し、一般的な植生調査を実施する。
- 林分調査：同上の方形区内で、一般的な林分調査（毎木調査）を実施する。
- その他：調査地は25ヶ所／年を3年間で75ヶ所設定済

4 御内調査区の調査結果

調査地名		御内①	御内④	御内⑦
斜面方位		北	東南	北西
施業内容		放置	40%切置き	60%切置き
施業年度		—————	H21年度	H21年度
第1回調査 (施業前)	調査年度	H20年度	H20年度	H20年度
	立木本数(/ha)	2,500	3,600	2,300
	草本層の種数	9	38	15
第2回調査 (施業後)	第2回調査年度	H20年度	H20年度	H20年度
	立木本数(/ha)	2,500	2,200	800
	草本層の種数	7	36	26